

財界不況のため経営困難に陥り工場閉鎖の
止従業員九十九名を解雇す

十一日

午前九時山崎島尾吉は工員一同を倉庫に集め
自らの経済状態は事業の経緯を述べた
工場閉鎖の工場閉鎖をなすことを述べた
同工場経営のたゞ資金を融通して来りた
主を求めた可及的工場復設を希望する
から諸君に託して協議をあり及しと懇願し
たより従業員は工場閉鎖の止むを認め
静謐に退場を許す
折口三郎は解雇を勤続年を以て
勤続年を以て

社の規定に倣い支給することに工員一同に決す

十一日午後一時半評議會代表と藤田片山
従業員代表 藤田片山 藤田片山 藤田片山
工場の出張所管理人と面会し支給額に付
金額を明瞭に示すこと述べた
通り支給しと以外に不可能なることを答へ
七時かち七時近頃の面会を約し退場す
七時かち七時近頃の面会を約し退場す

十二日

午後四時港七郎藤田外三名(前日の代表者)
出張所と依頼するが山田管理人は